

今回は、循環器内科・佐藤亜紀医師に「心不全」の診断や重症度の判断の目安等についてお聞きしました。



循環器内科

Cardiology Dr. Aki Sato

佐藤亜紀医師

- 日本内科学会 認定内科医
- 日本循環器学会 専門医
- SCCT Japan International Regional Committee
- 日本核医学会
- 日本心不全学会
- 日本メディカルAI学会
- 名古屋商科大学ビジネススクール
Healthcare MBA Track修了
- グロービス経営大学院大学 経営学修士 (MBA)
- 一般社団法人日本医療経営実践協会 医療経営士2級
認定登録番号30710022090073
- 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会会員
認定登録 医業経営コンサルタント 登録番号8708号

平成10年3月 旭川医科大学医学部卒業
平成10年5月 旭川医科大学 内科学講座
循環呼吸神経病態内科分野
平成16年7月 社会医療法人北農会
恵み野病院 循環器内科
平成29年4月 ときわ会常磐病院



悪化の防止を目的に地域の患者様へご家族、医療機関、薬局、介護サービス施設の間で横断的に連携する上記事業が立ち上がりました。

Q 心不全の診断や重症度を知らするために1つの基準となるNT-proBNPについて教えてください。

BNPとは脳性ナトリウム利尿ペプチド (brain natriuretic peptide) を指します。BNPとNT-proBNPはともに、心臓の筋肉 (心筋) の同じBNP遺伝子から作られます。

BNPなら基準値は184pg/mL以下、NT-proBNPは55pg/mL以下です。このように、基準値は、健常者

集団における検査値変動を基に決定されるものです。一方で、「カットオフ値」は「病態識別値」とも呼ばれ、病気があるかないかを判別する参考となります。心不全についてはBNPでカットオフ値35以上、NT-proBNPなら125以上で、心不全の可能性があるだろうと考え、精査または循環器専門医に紹介できるタイミングとなります。

Q 心不全の早期診断、病態把握のためには

前心不全の状態では、患者さん自身にもはっきりした自覚症状がないことが多いため、客観的にBNPもしくはNT-proBNP採血を実施することで、従来の症状がでてから治療を開始するタイミングよりも、かなり早期に対応が可能になるでしょう。

ちなみに採血ではBNPかNT-proBNPのどちらかのみで十分であり、2つとも調べる必要はありません。

Q BNPを下げるには?

食事、生活習慣の調整、薬物治療などを医師や医療スタッフの指示のもとで適正に実施することで心不全の病態を改善されると、BNPやNT-proBNPは低下します。心不全治療の状態はこれらの数値の変化率をみてその後の治療の方向性を決める参考になります。

ボクの名前は
こたろうだよ。



▲ 佐藤亜紀先生のペット



PROFILE

東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座・
慈恵大学葛飾医療センター中央検査部
診療部長

- 日本循環器学会 循環器専門医
- 日本内科学会 総合内科専門医
- FACC(米国心臓病学会の正会員)
- 心臓リハビリテーション指導士
- 日本血管インターベーション治療学会
専門医
- TAVI指導医

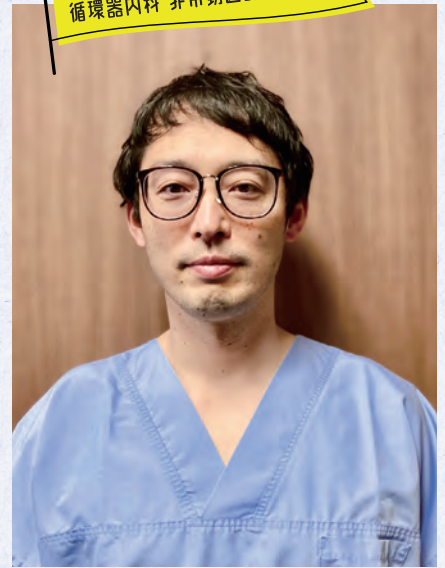
Q 受け持っている診療内容は？
息切れ、胸痛、動悸等の精査・
治療を行なっております。サブ
スペシャリティとしては、心臓

Q 常磐病院ではどのような診療
を担当していますか？
一般循環器診療全般を担当し
ております。非常勤ですので、
病棟患者さんを受け持つことは
ありませんが、外来に加えて院
内からのコンサルも受けており
ます。

Q 医療機関の先生方へメッセー
ジをお願いします。
お気軽にご紹介いただければ
幸いです。適切に診断を行い、
必要があれば治療可能な病院へ
紹介をさせていただきます。

循環器内科外来を担当する宮坂医師をご紹介します！

循環器内科 非常勤医師のご紹介



東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座・
慈恵大学葛飾医療センター中央検査部

みやさか まさき
診療部長 **宮坂 政紀** 医師



TOP 02

「第8回 PEGと経腸栄養と
在宅医療フォーラム」の開催

2024年4月20日(土)
14時より「いわき芸術文化交
流館アリオス 中劇場」にて「第
8回 PEGと経腸栄養と在宅
医療フォーラム」を開催いた
します。参加費は1,000

円。事前申し込みは不要。会
長は公益財団法人ときわ会常
磐病院 副院長の神崎憲雄医
師が務めます。ご不明点や詳
細は事務局の「常磐病院(公
81-5522)」まで。



円。事前申し込みは不要。会
長は公益財団法人ときわ会常
磐病院 副院長の神崎憲雄医
師が務めます。ご不明点や詳
細は事務局の「常磐病院(公
81-5522)」まで。

TOP 01

臨床検査課のご紹介
メンバーで協力しながら検査をおこなっています

常磐病院臨床検査課は生理
検査室、病理室、輸血部と3
部門に分かれています。その
中で今回は生理検査室につい
て取り上げます。
生理検査室は主に心電図検
査、超音波検査をおこなって
います。



心電図検査は健診でも行わ
れており、一度は受けたこと
のある心臓の検査かと思いま
すが、その仕組みは心臓が動
くときに発生するわずかな電
気信号を手足、胸に取り付け

た電極により記録しています。
そのため、心臓の動きのバラ
ンスが崩れると心電図に異常
となって現れてくるのです。
超音波検査はその名の通り
超音波(エコー)を使って体
の中を検査する画像検査です。
エコー検査といわれたほうが
聞いたことがあると思います
し、妊娠中に赤ちゃんの様子
を見るために行われているの
が一番有名かもしれません。
人の耳では聞こえない「音」
を使つての検査ですので、痛
みも少なく、頻度を気にする
必要もありません。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明)
地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いいたします。